

2025 年 4 月 9 日
株式会社ゆうちょ銀行

基準価額の下落について

4 月 8 日、当行にて取扱いを行っている投資信託商品の一部において、基準価額が前日比で 5%超下落しました。

該当の投資信託商品を運用する三菱 UFJ アセットマネジメント株式会社から臨時レポートが発行されていますので、詳細は別紙をご参照ください。

商品名	基準価額	前日比	騰落率
つみたて新興国株式	14,625 円	-937 円	-6.02%
eMAXIS 新興国株式インデックス	21,509 円	-1,378 円	-6.02%

以上

基準価額が5%以上下落したファンドとその背景について(4月8日)

◆4月8日の基準価額下落について

別表に記載の公募ファンドの4月8日の基準価額は、前営業日比5%以上の下落となりました。

基準価額下落の背景となりました市況動向等、および今後の見通しと運用方針につきご報告致します。

◆基準価額下落の背景となった市況動向等

4月8日の基準価額に反映される同月7日の米国株式市場は、相対的に小幅な下落にとどまったものの、欧州や新興国などの一部の国・地域の株式市場では相対的に大きな下落が見られました。引き続き事前の予想を上回る相互関税の影響に対する懸念等を背景に、金融市場の価格変動性(ボラティリティ)が高止まりしている状況です。

◆今後の見通しと運用方針

足もとの各国市場の混乱の背景には、米国の関税率の引き上げが世界経済のスタグフレーション(景気停滞と物価高の同時進行)を招くとの警戒感があります。短期的には、インフレ再燃に伴う景気減速懸念などから株価の変動性が高まる局面が想定されます。市場が中長期的に落ち着きを取り戻すかは、①米国の追加関税措置とそれに対する各国の対抗措置が出揃い、米国との貿易協定合意に向けた動きがみられること、②米国の景気減速が鮮明となった際の米連邦準備制度理事会(FRB)の政策転換(インフレ抑制から景気下支えへ)が焦点になりそうです。

ファンドの基本的な運用方針に変更はありません。今後も市況動向等に十分注意を払い、引き続きコンセプトに沿った運用を継続していく方針です。

■コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。

■また、将来の市場環境の変化または運用成果等を保証するものではありません。なお、市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

■表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

■後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

<別表>

【基準価額が前営業日比5%以上下落したファンド】

ファンド名	基準価額	前営業日比	騰落率
ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド(予想分配金提示型)	8,043円	-950円	-10.56%
ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	23,129円	-2,721円	-10.53%
<DC>ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	21,435円	-2,519円	-10.52%
三菱UFJ チャイナオープン	12,202円	-1,229円	-9.15%
ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド(予想分配金提示型)	7,993円	-746円	-8.54%
ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド	21,897円	-2,042円	-8.53%
ビルドアップ型 ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド2021-04(限定追加型)	9,703円	-904円	-8.52%
<DC>ベイリー・ギフォード ESG世界株ファンド	12,424円	-1,145円	-8.44%
ファンド・オブ・オールスター・ファンズ	11,689円	-1,011円	-7.96%
eMAXIS 日経アジア300インベスタブル・インデックス	12,876円	-998円	-7.19%
ラップ向けインデックスf 新興国株式	11,055円	-709円	-6.03%
新興国株式インデックス・オープン(ラップ向け)	13,808円	-885円	-6.02%
三菱UFJ DC新興国株式インデックスファンド	22,502円	-1,442円	-6.02%
新興国株式インデックスオープン	18,071円	-1,158円	-6.02%
つみたて新興国株式	14,625円	-937円	-6.02%
eMAXIS 新興国株式インデックス	21,509円	-1,378円	-6.02%
eMAXIS Slim 新興国株式インデックス	14,521円	-930円	-6.02%
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型)円コース(毎月決算型)	4,865円	-296円	-5.74%
エマージング株式オープン	11,811円	-661円	-5.30%
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型)インド・ルピーコース(毎月決算型)	2,807円	-150円	-5.07%

※騰落率は、収益分配金(課税前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものであり、小数点第3位を四捨五入しています。

※ファンドによっては、投資対象資産や通貨の評価対象日(ファンドへの実質的な反映日)が異なります。

(ご参考)

【株式相場】

	4月4日	4月3日	4月3日比	
			騰落幅	騰落率
S&P500種株価指数	5,074.08	5,396.52	-322.44	-5.97%

※小数点第3位四捨五入

※出所: Bloomberg

	4月7日	4月4日	4月4日比	
			騰落幅	騰落率
東証株価指数(TOPIX)	2,288.66	2,482.06	-193.40	-7.79%
MSCI エマージング・マーケット インデックス(配当込み、現地通貨ベース)	170,053.60	183,738.19	-13,684.59	-7.45%

※小数点第3位四捨五入

※出所: Bloomberg

【為替相場】

	4月8日	4月7日	4月7日比	
			騰落幅	騰落率
円/米ドル	147.77	145.78	1.99	1.37%

※為替レートは三菱UFJ銀行の対顧客レート仲値等

※小数点第3位四捨五入

※出所: Bloomberg

	4月7日	4月4日	4月4日比	
			騰落幅	騰落率
円/米ドル	147.57	145.53	2.04	1.40%

※為替レートはWMロイターの値

※小数点第3位四捨五入

※出所: Bloomberg

・東証株価指数(TOPIX)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

・MSCI エマージング・マーケット インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

■後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

【投資信託のリスクとお客さまにご負担いただく費用について】

◎投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債およびリート等の値動きのある証券を投資対象としているため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動します。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等をよくご覧ください。

◎投資信託に係る費用について

（ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。）

■購入時（ファンドによっては換金時）に直接ご負担いただく費用

- ・購入時（換金時）手数料 … 上限 3.30%（税込）

■購入時・換金時に直接ご負担いただく費用

- ・信託財産留保額 … ファンドにより変動するものがあるため、事前に金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を表示することができません。

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

- ・運用管理費用（信託報酬） … 上限 年3.41%（税込）

（有価証券の貸付の指図を行った場合）

有価証券の貸付の指図を行った場合には品貸料がファンドの収益として計上されます。

その収益の一部を委託会社と受託会社が受け取る場合があります。

この場合、ファンドの品貸料およびマザーファンドの品貸料のうちファンドに属するとみなした額の上限 55%（税込）の額が上記の運用管理費用（信託報酬）に追加されます。

※一部のファンドについては、運用実績に応じて成功報酬をご負担いただく場合があります。

・その他の費用・手数料

上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等でご確認ください。

※その他の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

上記の費用（手数料等）については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計金額等を記載することはできません。

《ご注意》

上記のリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三菱UFJアセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等をご覧ください。

【本資料のご利用にあたっての注意事項等】

■本資料は、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

■クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご注意ください。

■投資信託の取得のお申込みに関しては、クーリングオフ（金融商品取引法第37条の6の規定）の適用はありません。

※サステナブル・ファンドについては委託会社のホームページ（<https://www.am.mufig.jp/corp/sustainability/sustainability.html>）をご覧ください。

設定・運用 … 三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

【ゆうちょ銀行からのお知らせ】

投資信託に関するリスク

- 投資信託は、預金・貯金ではありません。また、投資信託は、元本および利回りの保証がない商品です。
- 投資信託は、国内外の株式や債券等を投資対象にしますので、組み入れた株式・債券等の価格変動、為替の変動、発行者の信用状況の変化等により、損失が生じるおそれがあります。

■投資信託に関する手数料等

- ・投資信託の購入、保有、解約等にあたっては各種手数料等（購入時手数料、運用管理費用（信託報酬）、信託財産留保額等）がかかります。また、その他費用として、監査報酬、有価証券売買手数料、組入資産の保管費用等がかかります。これらの手数料等の合計額は、各投資信託およびその購入金額等により異なるため、具体的な金額・計算方法を表示することはできません。

■その他の注意事項

- ・当資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ・投資信託の申し込みにあたっては、リスクや手数料等を含む商品内容が記載された重要情報シートならびに投資信託説明書（交付目論見書）および一体となっている目論見書補完書面の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- ・ゆうちょ銀行各店または投資信託取扱局の窓口での申し込みに際しては、重要情報シートならびに投資信託説明書（交付目論見書）および一体となっている目論見書補完書面を、書面交付または電子交付しております。インターネットでの申し込みに際しては、投資信託説明書（交付目論見書）および一体となっている目論見書補完書面を電子交付しております。
- ・日本郵便株式会社は、株式会社ゆうちょ銀行から委託を受けて、投資信託の申し込みの媒介（金融商品仲介行為）を行います。日本郵便株式会社は金融商品仲介行為に関して、株式会社ゆうちょ銀行の代理権を有していないとともに、お客さまから金銭もしくは有価証券をお預かりしません。

■商号等



【登録金融機関】
株式会社ゆうちょ銀行
関東財務局長（登金）第611号
加入協会 日本証券業協会



【金融商品仲介業者】
日本郵便株式会社
関東財務局長（金仲）第325号